

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

<b>学校教育目標</b>	<b>教育課程全体で育成を目指す資質・能力</b>
自ら学び ともに考え 行動する台小の子	『自ら学ぶ力・ともに考え・行動する力』

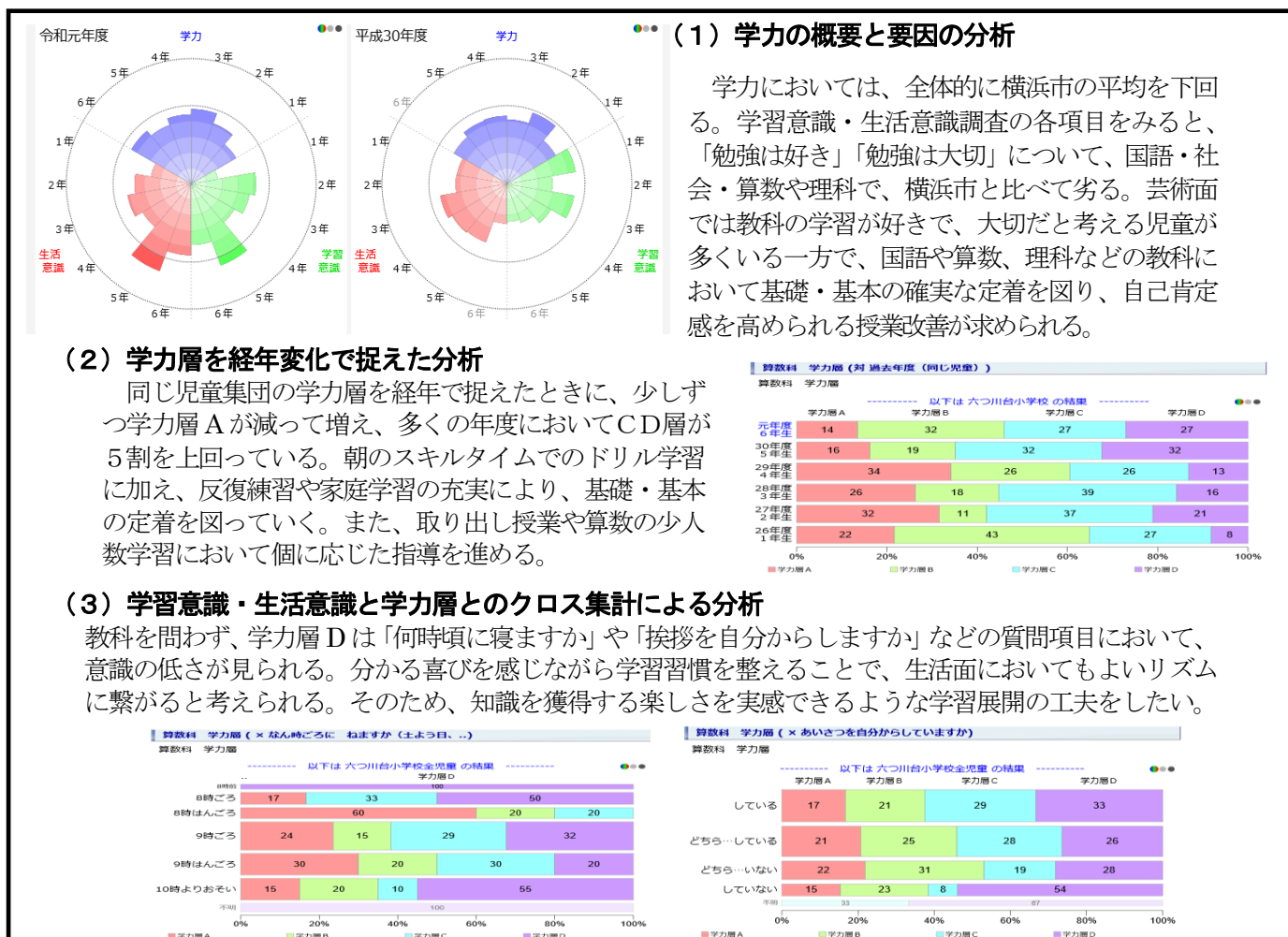
### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人一人にしっかりと向き合いながら、地域とともに歩む学校づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶことの意義や楽しさを知り、自ら学ぼうとする力を育てます。</li> <li>・積極的に人と関わり、協働しようとする意欲を育てます。</li> <li>・主体的に行動し、積極的に地域と関わろうとする態度を育てます。</li> <li>・家庭や地域、関係諸機関と連携を深め、開かれた学校づくりを進めます。</li> </ul>

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	<p>①スキル学習の充実を図り、語感を高め、基礎基本の定着を目指すとともに、一人一人が自分の考えをもち、互いに認め合い高め合えるようにする。</p> <p>②「教科等横断的に育成を目指す資質・能力」の獲得を目指し、算数科の授業を柱に「ともに考える」研究を推進する。</p>
担当	重点研推進委員会

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの令和元年度の実態把握



#### 算数科 学力層 (対過去年度 (同じ児童))

算数科 学力層	学力層 A	学力層 B	学力層 C	学力層 D
元年度 6 年生	14	32	27	27
30 年度 5 年生	16	19	32	32
29 年度 4 年生	34	26	26	13
28 年度 3 年生	26	18	39	16
27 年度 2 年生	32	11	37	21
26 年度 1 年生	22	43	27	8

#### 算数科 学力層 (× なん時ごろに ねますか (生より日、...))

算数科 学力層	学力層 A	学力層 B	学力層 C	学力層 D
8時ごろ	17	33	50	20
8時はんごろ	24	15	29	32
9時はんごろ	30	20	30	20
10時よりおそい	15	20	10	55

#### 算数科 学力層 (× あいさつを自分からしていますか)

算数科 学力層	学力層 A	学力層 B	学力層 C	学力層 D
している	17	21	29	33
どちら…している	21	25	28	26
どちら…いない	22	31	19	28
していない	15	23	8	54

### 3 令和3年度 教科等として育成を目指す資質・能力と具体的取り組み

	育成を目指す 具体化した資 質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆分かったできた喜びに出会う</li> <li>◆最後まで共感的姿勢で話を聞き、自分の考えを相手に伝える</li> <li>◆まねるなどして学びの型を知り、繰り返し学習する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児期までの経験を学びにつなぐ場や体験的活動を設定する。</li> <li>○ペアやグループなどいろいろな学習の仕方の中で、友達の考えをしっかりと聞き、様々な考えがあることに気づく。</li> <li>○「聞き方」「話し方」の基本となる姿勢や話型を繰り返し声をかけ、定着できるようにする。</li> <li>○教師が模範を示すことからまねる活動をはじめ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験的活動や学習の振り返りを教師が価値づけ、達成感をもたせる。</li> <li>○友達の考えを聞くなかで、自分の考えもきちんともてるようにする。</li> <li>○同じパターンを繰り返し行う。掲示物は、必要なときに確認できるようにする。</li> <li>○教師が模範を示さずとも、モデルとなるような姿を見せた児童を取り上げる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆友達や自分の考えや学び方の良さに気づき、自分の学習に取り入れること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○達成感(わかった・できた)を実感させて、主体的な学習(やってみよう)へと結び付ける。</li> <li>○指導者はできる限り一度しか話をしない。</li> <li>○「話している人へ顔を向ける」「人が話しているときは、最後まで聞く」など、聞き方の型を徹底的に指導する。</li> <li>○「人の多いほうに向かって話す」「話型を使って話す」などの話し方の話型の指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な聞く学習活動(楽しみながら学べる)を短い時間でも継続的に行う。</li> <li>○正しい聞き方で話を聞いている子どもを褒めて取り上げる。そのことで、子ども自らに「正しい聞き方ができた」体験を蓄積させていく。</li> <li>○指導者自らが子どもの話を聞いていないに聞くことで、聞き方の模範を示す。</li> <li>○順序だてて話ができるように、「いつ、どこで、だれが、なにをした」などキーワードに合わせて説明する学習を繰り返し行う。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆見通しをもって積極的に学習する</li> <li>◆友達の意見や考えを聞き、自分の考えと比べながら前の人と考えをつなげて話そうとする</li> <li>◆学習方法や内容を振り返り、学習を調整する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の実態に合わせて単元の学習計画を立て、一時間のめあてを明確に設定する。</li> <li>○相手と比較して聞き、共通点や違いを伝えられるようにするために、話型を示す。</li> <li>○考えの根拠となる資料を用意したり、経験を想起させたりして学習を展開していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の振り返りをする際に、身についた力を子ども自身が分かり、次のめあてを設定できるようにする。</li> <li>○聞く際のポイントを示すことで、相手の話を二つ以上の事項と比較しながら聞くようにする。</li> <li>○学活や総合、行事などと合わせて単元を組み替え、学習したことが生かされるようにする。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分の考えをもって相手に伝える力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の考えや学び方の良さに気が付くことができるように、相手を見て、心から聞くという話の聞き方を徹底して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達の考えや学び方の良さに気が付くことができるように、振り返り活動を充実する。自分の考えや学び方と比べながら、取り入れたい事柄を振り返るように指導する。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆安心して見通しをもって課題に取り組めるように、興味をもたせる課題づくりをする。</li> <li>○考えを自信をもって伝えられるように、グループでの話し合いを多くとり、発言の機会を増やす。</li> <li>○学習のめあてを明確にして、必ず振り返ることで、身に付いた力や次の課題意識をもたせ、学習意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料や既習内容の掲示物などを用いて、課題解決の糸口を見つけられるようにする。</li> <li>○友達の意見に耳を傾け、違いや共通点を探しながら聞き、自分の意見や考えを述べるよう指導する。</li> <li>○単元ごとに学習計画を立て、授業時ごとに確認したり、自ら確認したりできるようにする。また、振り返りは、日常や次時につながる振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に学びを進められるよう、できていることや本人の課題を明確にして支援をし、意欲を高める</li> <li>○友達の意見に耳を傾け、違いや共通点を探しながら、自分の考えと比較して考えを深めようとする。</li> <li>○子ども自らが単元を構想できるようにする。</li> <li>○互いに認め合う場面を作り、価値づけを徹底する。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆異学年で、交流する場を意図的に設定する。</li> <li>○個に応じた課題として、スモール・ステップの設定</li> <li>○適切な伝え方を示して、相手に伝わるように自分の考えを伝えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安心して見通しをもって課題に取り組めるように、興味をもたせる課題づくりをする。</li> <li>○考えを自信をもって伝えられるように、グループでの話し合いを多くとり、発言の機会を増やす。</li> <li>○学習のめあてを明確にして、必ず振り返ることで、身に付いた力や次の課題意識をもたせ、学習意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元のめあてを明確にし、学習計画は子どもと立てることで、見通しをもって意欲的に学習できるようにする。</li> <li>○相手の話をよく聞き、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。</li> <li>○学習のめあてを明確にして、必ず振り返ることで、身に付いた力や次の課題意識をもたせ、学習意欲を高める。</li> </ul>
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆異学年で、交流する場を意図的に設定する。</li> <li>○個に応じた課題として、スモール・ステップの設定</li> <li>○適切な伝え方を示して、相手に伝わるように自分の考えを伝えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○より自信をもって取り組めるように、学級の雰囲気づくりに努める。</li> <li>○個に応じた課題として、スモール・ステップの設定</li> <li>○自分の思いや考えを言葉で表現できる支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○異学年で、交流する場を意図的に設定する。</li> <li>○個に応じた課題として、スモール・ステップの設定</li> <li>○適切な伝え方を示して、相手に伝わるように自分の考えを伝えられるようにする。</li> </ul>